

ごみの分別にご協力を

多くのごみが分別され、資源として有効活用される一方で、分別されずに持ち込まれたごみや、誤った分別をされたまま持ち込まれたごみは、さまざまなトラブルを発生させています。実際にごみ処理の現場で働く株式会社日本管財環境サービスの皆川晃さんに、お話を伺いました。

さまざまな方法を活用し、正しい分別の確認をお願いします

本市では、市民の皆さんができるよう、携帯アプリの配信や収集ごみの分別表の配布などを実施しています。ごみを分別する際にご活用ください。



資源・ごみ分別アプリ 「さんあ～る」

令和2年4月からごみ分別アプリ「さんあ～る」を導入しています。

「さんあ～る」は、ごみの分別方法の検索機能や収集日をお知らせする機能がついたアプリです。外国の方にも使っていただけます。

ぜひダウンロードしてご活用ください。



収集ごみ分別表

今年度の4月号の広報紙と一緒に市内各世帯へ「枕崎市収集ごみ分別表」を配布しました。ごみの分別方法が一目で分かり、裏面にはごみ収集カレンダーが掲載されていますので、ぜひご活用ください。また、分別表がご家庭にない方は、市民生活課環境整備係までご連絡ください。

■市民生活課環境整備係 TEL 76-1097



五十音別ごみの区分と出し方

日常生活で出る代表的なごみの品目について五十音別のごみの区分と出し方に関する手引きを作成しました。

市ホームページで公開しています。

【家庭で不要になったパソコンを無料回収します】

本市では「小型家電リサイクル法」の認定事業者である「リネットジャパンリサイクル株」と協定を締結し、家庭で不要になったパソコンの宅配便による無料回収を1月から始めました。利用方法は以下の通りです。

- ①リネットジャパンへ申し込み(<http://www.renet.jp>)
- ②パソコン等をダンボールに詰める
- ③宅配業者が希望日時に自宅から回収
- データはご自身で消去してください(無料消去ソフト提供あり)
- パソコン周辺機器、その他の小型家電も一緒に回収可能です。
- パソコンを含むダンボール1箱分の回収料金が無料(箱のサイズは3辺の合計が140cm以内、重さは20kg以内)
詳しくは、リネットジャパンリサイクル株のホームページ(<http://www.renet.jp>)、もしくは市民生活課環境整備係(76-1097)までお問い合わせください。



内鍋清掃センターで主任技術者として働く皆川晃さんは、ごみの受け入れ業務に携わっています。日々の業務の中で分別されずに持ち込まれるごみを目当たりにしてきました。「分別されずに持ち込まれたごみは、さまざまなものトラブルの原因にもなっている」と皆川さんは話します。

内鍋清掃センターでは、燃えるごみとして収集されたごみは、焼却炉で焼却されます。焼却炉では、硅砂という砂を加熱して流動させ、その中でごみを焼却するという仕組みになっています。しかし、燃えないごみは完全には焼却されず、焼却炉の底に堆積していき、硅砂の流动を止めてしまいます。その度に焼却炉を止め、一度硅砂を抜き、堆積したごみを回収するという作業が生じています。

堆積したごみには、本来燃えるごみではない換気扇や台車のキャスター、水道配管、カセットコーンロッドなどが含まれていたこともありました。一度焼却炉を停止してしまうと、4日程度焼却を止めざるを得ないため、その間焼却ができずにごみがたまってしまいます。特にお盆や年末の時期には大量のごみが持ち込まれるため、内鍋清掃センターの運営にも影響を及ぼします。また、一度停止した焼却炉を再度加熱する際に費用が発生するなど、さまざまなデメリットが生じています。

内鍋清掃センターに持ち込まれた資源ごみは作業員の手作業によって再度、分別の確認が行われています。過去には使用済みの注射器が分別されずにほかのごみの中に紛れ込んでいたこともあります。また、誤った分別を原因とする火災も発生しています。

リチウムイオン電池による火災

近年、ごみ処理施設での火災の原因の約8割がリチウムイオン電池によるものです。モバイルバッテリーや加熱式タバコ、電子機器のバッテリーなどに使用されるリチウムイオン電池は、圧縮されるなどしてプラス極とマイナス極がつながるとショートし、周囲に燃えやすいものがあると発火します。リチウムイオン電池やリチウムイオン電池を含む小型家電(電動シェーバー等)は、「火災危険物」として資源ごみの収集日に出すようお願いします。

▲回収された燃えないごみ

事故防止、経費削減のため にごみの分別にご協力を

このような事故などを防止するため、個人で持ち込んできたごみはその場で中身を確認し、場合によっては持ち帰りをお願いすることもあります。二度手間、三度手間になってしまい、心苦しい気持ちもありますがと話す皆川さんですが、正しい分別が事故の防止につながると同時に、ごみの減量化による経費の削減と資源ごみの有効活用による収入の増加につながると話します。

「資源ごみの有効活用とごみを減らすことによる経費削減のために、ごみの分別にご協力を」と皆川さんは訴えます。

燃えないごみが紛れ込み 焼却炉がストップ

底に堆積していき、硅砂の流动を止めてしまいます。その度に焼却炉を止め、一度硅砂を抜き、堆積したごみを回収するという作業が生じています。

堆積したごみには、本来燃えるごみではない換気扇や台車のキャスター、水道配管、カセットコーンロッドなどが含まれていたこともありました。一度焼却炉を停止してしまうと、4日程

